

編集委員のページ



柳澤 沙也子

甲南女子大学大学院看護学研究科博士前期課程

看護師として病院等で勤務した後、2015～17年JICA青年海外協力隊としてインドネシア共和国派遣。2018年より現所属。NPO法人Rehab-Care for ASIAインドネシア事業リーダー。

ある日の国際保健医療分野を志す若者へ

2019年12月7・8日、日本国際保健医療学会学術大会(於:三重大学)に参加しました。全国から多くの国際保健医療分野における研究者・実践者が集まり、日本WHO協会関係者も多数発表しました。

帰り道、同じセッションに参加した大学生と電車に乗りました。聞けば地方都市の大学の薬学生とのこと。国際保健医療の現場で専攻分野の学びを活かす道を探り、学生団体やアフリカでの研修等に参加していると伺いました。今回の学術大会にも1人で参加し、学生向けのセッション等を拝聴したそうです。地方都市から県外の勉強会等に参加するには時間も費用も要するにもかかわらず、学びの場を求めて励む姿に胸が熱くなりました。私自身、地方都市の大学出身で、大学生の頃は試行錯誤しながら情報収集を行い、1人でアジアや大洋州へのスタディツアー等に参加していました。若き日の自分と重ね合わせ、浅いながらも私自身の経験をお伝えし、彼女が下車するまでの間、気付けば2時間以上(!)語り合いました。

大阪では奇数月に開催している関西グローバルヘルスの集いの他、2020年11月にはグローバルヘルス合同大会(於:大阪大学吹田キャンパス)が開催されます。4学会の発表から幅広く国際保健医療について知る貴重な機会です。大学生や若手研究者のみならず、また専門分野を問わず多くの方々が様々な分野における研究・活動を知ること視野を広げ、世界に羽ばたくきっかけになりますように。

寄付者のご芳名

当協会にご寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。

(匿名希望を除く。50音順、2020年2月末現在)

この紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

**稲本孝好様、小笠原理恵様、澤井誠様、
サラヤ株式会社様、(一社)生産技術振興協会様**